

## アクセス



### 電車利用 (JR常磐線・水戸線)

- 東京駅 → 特急約75分 → 水戸駅
- 上野駅 → 特急約70分 → 水戸駅
- いわき駅 → 特急約65分 → 水戸駅
- 小山駅 → 約85分 → 水戸駅

### マイカー利用 (常磐自動車道・北関東自動車道)

※水戸I.Cから水戸駅付近までは約20分です。

- 東京都内 → 約90分 → 水戸I.C
- いわき中央I.C → 約70分 → 水戸I.C
- 宇都宮上三川I.C → 約45分 → 水戸I.C
- 栃木都賀JCT → 約70分 → 水戸I.C
- 高崎JCT → 約105分 → 水戸I.C

### 高速バス・路線バス利用

- 東京駅八重洲南口 ▶ [常磐道] ▶ 水戸駅北口・南口
- 羽田空港 ▶ [常磐道・北関東道・東水戸道] ▶ 水戸駅南口
- 土浦・つくば ▶ [常磐道] ▶ 水戸駅南口・北口
- 宇都宮駅西口 ▶ [北関東道・常磐道] ▶ 水戸駅北口
- 茨城空港 ▶ 水戸駅南口・北口

発行

水戸市

平成25年度 初版発行

平成27年度 改訂版発行



水戸市マスコットキャラクター  
みとちゃん

# 借楽園 公園 ガイド



# はじめに

「偕楽園公園」は、偕楽園とその周辺の公園や緑地などを総称したものです。

水戸市では、市民の皆さんや観光客の方に偕楽園公園の魅力を知っていただくため、この「偕楽園公園ガイド」を発行しました。

偕楽園公園ガイドには、偕楽園や千波公園、逆川緑地のほか、周辺の文化施設なども掲載しています。



**偕楽園本園をご利用の皆さんへ**  
偕楽園本園では、「ペット(犬等)を連れての入園」をご遠慮いただいています。本園以外の範囲(偕楽園拡張部(四季の原等))については、制限はありませんが、犬にリードをつけたり、ふんを持ち帰ったりするなど、ほかの利用者の迷惑にならないようにご利用ください。

もくじ

<b>偕楽園エリア</b>	
偕楽園本園	04
偕楽園公園の四季を彩る催し	08
常磐神社	09
偕楽園拡張部	10
丸山・桜山、茨城県護国神社	13
偕楽園公園のイベント	15
<b>茨城県立歴史館エリア</b>	
茨城県立歴史館	16
歴史館のイベント	18
沢渡川緑地	18
<b>歩いてみよう!! 偕楽園公園</b>	<b>19</b>

<b>千波公園エリア</b>	
千波公園	20
偕楽園公園の四季を彩る催し	25
茨城県立県民文化センター	26
茨城県近代美術館	27
<b>周辺緑地</b>	
逆川緑地	28
紀州堀緑地	30
<b>偕楽園公園周辺の観光施設</b>	<b>31</b>



# 借楽園エリア

## 借楽園本園



### ◎借楽園本園の見どころ

#### 1 好文亭表門

借楽園の正門に相当する門で、松材が多く使用され松煙塗(黒色)となっているため、黒門ともいわれています。



#### 2 もうそうちくりん 孟宗竹林

表門から一の木戸に入って吐玉泉に通じる園路の左側には孟宗の竹林があります。この竹は、弓の材料とするために、徳川斉昭公が京都男山の竹を移植したものです。



#### 3 とぎよくせん 吐玉泉

この辺りは昔から湧水の多かったところで、徳川斉昭公は、借楽園造成に当たり地形の高低差を利用して集水し、造園上の景観を考慮した白色の井筒を据えた湧水泉を設置しました。この水は眼病に効くといわれ、好文亭の茶室何庵庵の茶の湯にも供されました。

泉石は常陸太田市真弓山の大理石で、寒水石ともいいます。現在の泉石は4代目で、昭和62年(1987年)に更新したものです。



## 借楽園本園



水戸市常磐町1-3-3  
 6:00~19:00(2/20~9/30)、7:00~18:00(10/1~2/19)  
 ◎休/なし ◎料金/無料 ◎トイレ/あり  
 ◎駐車場/あり(借楽園下有料駐車場(水戸市常磐町1-6093-1)ほか)  
 ◎問合せ/借楽園公園センター TEL.029-244-5454  
<http://www.koen.pref.ibaraki.jp/park/kairakuen01.html>

## 借楽園本園の歴史



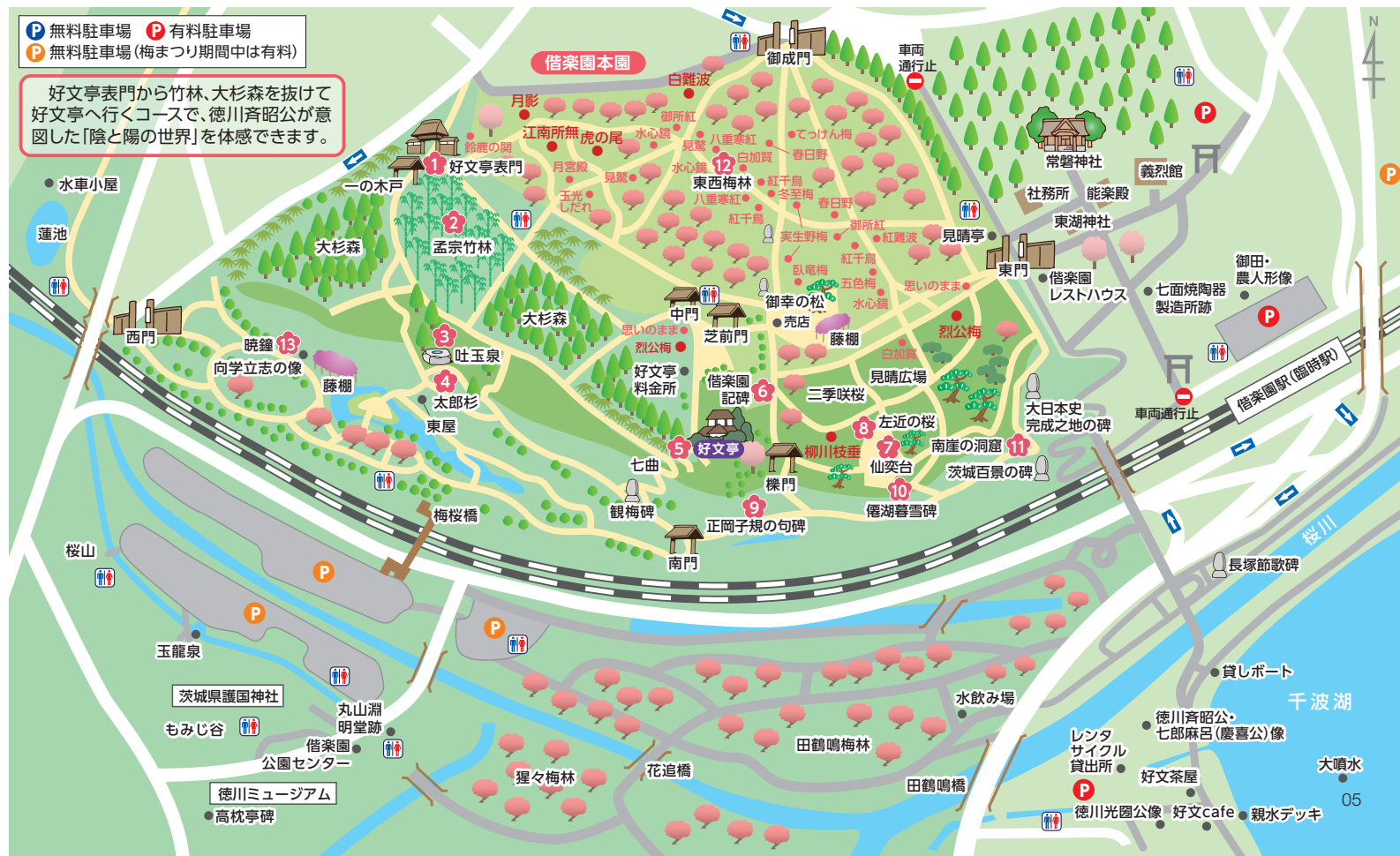
借楽園本園

金沢の兼六園、岡山の後楽園とともに日本三名園の一つに数えられ、江戸時代天保13年(1842年)、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により造られました。

借楽園の名称は、中国の古典である『孟子』の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節からとられたもので、「借楽園記」では「是れ余(斉昭公)が衆と楽しみと同じくするなりの意なり」と、述べられています。

園内には、約100品種3,000本の梅が植えられ、かぐわしい早春を告げてくれます。そのほかにも、春には桜、初夏にはつつじ、秋には萩、初冬には二季咲桜と、花々が園内に季節を届けてくれます。

平成27年度には、近世日本の教育遺産群として、日本遺産にも認定されました。



### 4 太郎杉

吐玉泉のそばにある太郎杉は樹齢約800年といわれています。



### 5 好文亭



徳川斉昭公により、偕楽園内に別邸として建てられたもので、素剛優雅な外観は水戸武士の風格が感じられる建築です。この名は梅の異名「好文木」に由来し、その三階の楽寿楼からの眺望は見事です。

9:00~17:00 (2/20~9/30)、  
9:00~16:30 (10/1~2/19)

◎休館/12/29~31

◎料金/  
(個人) 大人 200円 小人100円  
(団体) 大人 150円 小人 80円

※団体:20人以上、大人:中学校の生徒を除く  
年齢15歳以上の方、小人:小・中学生。  
※70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方  
(介護者1名を含む)は無料。

### 6 偕楽園記碑

高さ2.5mの自然石の平石に、偕楽園の名前の由来や創設した理由、利用の心得などが、徳川斉昭公の直筆で記されています。



### 7 せんきだい 仙奕台

千波湖をはじめ、周囲の景観が一望できます。碁や将棋を楽しんだ場所です。



### 8 左近の桜

この桜は、天保2年(1831年)、徳川斉昭公夫人の登美宮が降嫁の折、仁孝天皇から京都御所の左近の桜の鉢植えを賜ったことにさかのぼります。

江戸小石川の水戸藩上屋敷に植えられたこの桜は、天保12年(1841年)弘道館の落成にあたり、弘道館正庁玄関前に移植されました。その後、初代・二代目は枯れてしまい、現在の桜は、昭和38年(1963年)弘道館改修工事の完了を記念し、茨城県が宮内庁より京都御所の左近の桜の系統(樹齢7年)を受領し、弘道館と偕楽園に植えたものです。

### 9 正岡子規の句碑

「崖急に 梅ことごとく 斜めなり」この句は、正岡子規が明治22年(1889年)に偕楽園を訪れた際、好文亭から見た南崖の梅の印象を後年詠んだものです。



### 10 せんこのぼせつひ 偺湖暮雪碑

徳川斉昭公が選んだ水戸藩内の景勝の地「水戸八景」の一つ。偺湖とは千波湖のことです。



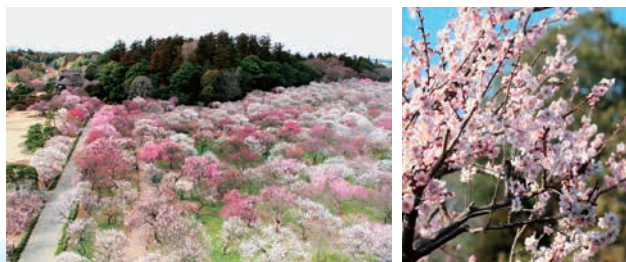
### 11 なんがいのどうくつ 南崖の洞窟

この洞窟は今から約350年前の第2代藩主徳川光圀公の時代から第9代藩主徳川斉昭公の時代にかけて「神崎岩」と呼ばれた石を採掘した跡です。



### 12 東西梅林

早咲き、中咲き、遅咲きと開花時期が異なる梅が植えられており、長い期間、梅を楽しむことができます。園路に沿って、梅林の中を散策することもできます。



### 13 ぎょうしょう 暁鐘

偕楽園を西門から入ると、日本庭園である偕楽園本園には珍しく、西洋近代建築を思わせるモニュメントが目に入ります。これは「暁鐘」という鐘で、旧制水戸高等学校(現・茨城大学の前身)の寄宿舎にあった鐘を復元したものです。暁鐘のとなりに、旧制水戸高等学校の生徒の立像である「向学立志の像」も建てられています。



## ● 偕楽園の梅 水戸の六名木

偕楽園の梅は、品種が豊富なことでも有名です。なかでもその華麗さから、水戸の六名木に選ばれた梅もあります。梅の開花時期は気候や品種により差がありますが、冬至梅という早咲の品種は12月下旬から咲き始め、江南所無のような品種は3月下旬頃が見頃となります。

花の形、香り、色など特に優れているものを6品種選び、昭和9年に水戸の六名木としました。



白難波  
しろななば



虎の尾  
とらのお



柳川枝垂  
やながわしだれ



烈公梅  
れっこうばい



江南所無  
こうなんしょむ



月影  
つきかげ

### 偕楽園公園の四季を彩る催し

## 水戸の梅まつり

◎期間/2月20日~3月31日  
◎会場/偕楽園 弘道館

水戸の梅まつりは、明治29年(1896年)、水戸・上野間の鉄道開通を機に、観梅列車が運行されたことがきっかけとなって始まりました。期間中は、野点茶会、夜の偕楽園「夜・梅・祭」など、さまざまな行事が行われ、市民や観光客など、多くの方でにぎわいます。



水戸の梅大使



夜・梅・祭



観梅芸能まつり



野点茶会



水戸黄門様一行と記念撮影



ひな流し



野点茶会



雅楽



献詠歌会



キャンドルによるライトアップ

## 水戸の萩まつり

◎期間/9月1日~9月下旬  
◎会場/偕楽園



偕楽園の萩は、徳川斉昭公が仙台藩から譲り受け、偕楽園創設とともに植えたもので、宮城野萩を中心に白萩、山萩、丸葉萩など、総株数約750株が咲き競います。「中秋の名月」には、偕楽園を午後9時まで特別開放し、合同野点茶会、神楽舞・雅楽演奏会など秋の風情が感じられる月見の会が開催されます。

### 常磐神社



### 常磐神社

常磐神社は、水戸藩を代表する第2代藩主徳川光圀公と第9代藩主徳川斉昭公を祀る神社です。

水戸市常磐町1-3-1  
◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
◎問合せ/常磐神社 TEL.029-221-0748  
<http://komonsan.jp/>  
<https://www.facebook.com/tokiwajinja>



### ◎境内の見どころ

#### 義烈館 ぎれつかん

義烈館には追鳥狩(軍事演習)に使用したといわれる陣太鼓や大砲「太極」などの遺品が展示されています。義烈館の名は、徳川光圀公(水戸黄門)が義公、徳川斉昭公が烈公と称される諡から名付けられました。



平日...9:30~15:30  
土・日・祝日...9:00~16:00  
◎料金/大人300円、小・中学生100円  
◎休/木曜日 ※臨時休館あり。  
◎問合せ/常磐神社

#### 陣太鼓

徳川斉昭公が追鳥狩のとき、合図に使うために造らせたものです。胴周囲470cm、直径144cm、長さ188cmで日本一の陣太鼓といわれています。



#### 東湖神社

藤田東湖命を祀る神社です。東湖は徳川斉昭公に仕え、藩政改革や弘道館の創建に活躍しました。



#### 大砲「太極」

徳川斉昭公は、欧米の侵略が、やがて日本にも迫ってくるのを察して、尊王攘夷を唱え、思想統一と武備の充実に努めました。その一環として、領内の梵鐘や仏像仏具などを集め、天保13年(1842年)から翌年にかけて、型式の違う75門の各種の大砲を鑄造させました。常磐神社に残るこの太極砲は、その内の1門です。斉昭公筆の『太極』の銘が浮き彫りになっています。



#### 三木神社

徳川光圀公の育ての親である三木之次(みきゆきつぐ)・武佐(むさ)夫妻を祀る神社。三木之次の子孫である三木啓次郎が、松下電器(現・パナソニック)創業者である松下幸之助を援助していた縁で、松下氏を始めとする関係者の援助により昭和40年(1965年)に創業されました。テレビドラマ「水戸黄門」が長らく松下電器の提供だったのも同様の理由です。



#### 御田と農人形像

常磐神社の石段下には、御田と徳川斉昭公ゆかりの農人形像があります。御田では、毎年御田植祭が行われます。農人形は、徳川斉昭公が、農民の労に感謝して人形に飯を供えたのが始まりで、水戸地方の代表的民芸品です。



※御田植祭(おたうえさい)・・・秋の豊作を祈りながら御神田に稲の苗を植える行事。

### 偕楽園拡張部

偕楽園本園南側は、歩きやすくまたくつろぎやすく整備されており、梅林、芝生広場、水鳥たちが遊ぶ池などがあります。

- ◎駐車場/あり ◎トイレ/あり
- ◎問合せ/偕楽園公園センター TEL.029-244-5454

- P** 無料駐車場 **P** 有料駐車場
- P** 無料駐車場 (梅まつり期間中は有料)



### ◎偕楽園周辺エリアの見どころ

#### 1 もみじ谷

もみじ谷は、水の流れと緑が調和した心やすらぐ広場です。

秋には、紅葉したもみじが水面を彩ります。



#### 2 玉龍泉

桜山の北の崖下にある「玉龍泉」は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が造らせたものです。斉昭公は桜山と偕楽園を一对のものとして整備しており、玉龍泉は偕楽園の吐玉泉と対になっています。高低差を利用して作られた日本最古の噴水ともいわれており、明治18年(1885年)に出版された「常磐公園攬勝図誌」にも、イラスト入りで玉龍泉が描かれています。



#### 3 田鶴鳴梅林

「田鶴鳴梅林」の名は、田鶴鳴橋にちなんで名付けられたものです。偕楽園が造られた当初、水田だったこの場所にタンチョウヅル、マナヅル、ナベヅルの3種の鶴が、ひとつがいつ放されていたことから偕楽園の下に架けられていた橋を田鶴鳴橋と呼ぶようになりました。



### 4 しょうじょうばいりん 猩々梅林

「猩々梅林」の名は、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が丸山に建てた、丸山淵明堂に、猩々の絵が掛けられていたことから、別名「猩々堂」とも呼ばれていたという故事にちなんで名付けられたものです。



### 5 ようちょうばいりん 窈窕梅林

「窈窕梅林」の名は、この梅林の背景となっている緑岡に上る小道が、徳川光圀公の時代に、その奥行き深い自然景観から窈窕塚と呼ばれていたことと、この地区の景観特徴を考えあわせて名付けられたものです。



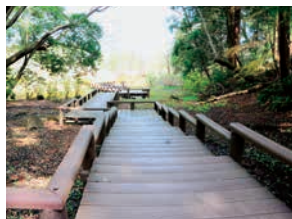
### 6 月池

月池は四季の原の中央部に、川の流れを取り込んで広がる池です。四季の原などの風物や月を写す水面をイメージした名称です。



### 7 蛭谷

蛭が生息する蛭谷には、水辺の生物に出会える遊歩道が整備されています。



### 8 四季の原

偕楽園がつくられた当時の里の風景を再現した四季の花咲く野原です。なだらかに広がる芝生広場があります。



### 9 シャバラムの道の碑

偕楽園とアメリカ・ロサンゼルス市のシャバラム・リージョナル公園との姉妹公園締結を記念して建てられました。同公園に梅林をつくるにあたって茨城県が支援したという縁があり、姉妹公園の締結につながりました。



### 10 偕楽園公園センター

絵画や盆栽などを展示する展示室のほか、梅などの植物についての質問に専門の相談員が答える、梅と緑の相談所があります。

展示室 9:00~16:30  
休/月曜日、12/29~1/3  
梅と緑の相談所 月・木曜日 15:00~17:00  
◎問合せ/  
偕楽園公園センター TEL.029-244-5454



### 丸山・桜山、茨城県護国神社

#### 丸山・桜山

丸山は、護国神社の鳥居の前にある小さな丘で、その形が椀を伏せたように丸いところから丸山といわれています。水戸藩第2代藩主徳川光圀公が中国東晋の詩人・陶淵明の清節を慕って建てた丸山淵明堂跡の碑があります。

桜山は、古くから景勝の地とされ、「白雲岡」とも呼ばれていました。当初、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公は、この地に偕楽園を造園しようとしたのですが、狭かったため、数百株の桜を植えるとともに、休憩所として一遊亭を建てたといわれています。

◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
◎問合せ/偕楽園公園センター TEL.029-244-5454



一遊亭跡



桜山は、春にはソメイヨシノを中心とした桜が咲き誇り、多くの人にぎわいます。



丸山淵明堂跡



#### 茨城県護国神社

幕末から第2次世界大戦までの茨城県出身戦没者の霊が祀られています。昭和16年(1941年)に常磐神社から現在地に移されました。偕楽園近くの桜山に位置し、約400本の桜が咲き誇る桜の名所にもなっています。

水戸市見川1-2-1  
◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
◎問合せ/茨城県護国神社 TEL.029-241-4781  
<http://www.sakura559.net/>





## 徳川ミュージアム

水戸徳川家に伝わった貴重な宝物類が見られる唯一の博物館です。歴代藩主・夫人たちの遺愛の品や、「大日本史」編さんのために集められた史料も展示されています。

水戸市見川1-1215-1  
10:00~16:00

◎休/無休 ※年末年始を除く。詳細は、お問合せください。  
◎料金/大人 1,200円 小・中学生 900円  
※詳細は、お問合せください。

◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
◎問合せ/徳川ミュージアム TEL.029-241-2721

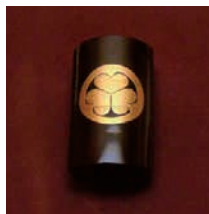
<http://tokugawa.gr.jp/>



### 常設展

常設展示では、水戸藩第2代藩主徳川光圀公、第9代藩主徳川斉昭公の武具のほか、伝来の茶器などを見ることができます。

また、テレビドラマ水戸黄門で使用された「印籠」のモデルとなった、光圀公所用の印籠も展示されています。



光圀公の黒地葵紋蒔絵印籠 徳川光圀公の武具



### ◎主な施設

#### ガーデンテラス

庭が一望できる眺めのよいカフェと、講座などに利用できるフリースペースです。ガーデンテラスでは、水戸徳川家御用達のお菓子と抹茶のセットやランチセット、斉昭公が著した「食菜録」より、現代風にアレンジした再現メニュー「斉昭御膳」を楽しめます。

※「斉昭御膳」(3,549円)は事前予約が必要です。



#### ミュージアムショップ

黄門さまの印籠をモチーフにした商品をはじめ、徳川ミュージアムならではのミュージアムグッズを販売しています。



#### 高枕亭跡 こうちんていあと

徳川ミュージアムが建つ緑岡の地は、かつて光圀公の茶室「高枕亭」が建ち、斉昭公の時代には、藩主の茶園がありました。斉昭公の7男で第15代将軍となった徳川慶喜公もこの地を訪れています。さらに維新後も水戸徳川家の邸宅として使われてきた由緒ある土地です。



## 借楽園公園のイベント

### 元旦マラソン

**1月1日** 会場/千波湖畔  
主催/公益財団法人水戸市スポーツ振興協会、茨城新聞社、水戸市陸上競技協会

千波湖畔1周を走る3kmのマラソン大会です。約2,500人のランナーが元旦の水戸を駆け抜けます。



### ちびっ子広場

**5月下旬** 会場/借楽園拡張部(四季の原)  
主催/公益社団法人水戸青年会議所

1975年に始まり、40回を超える「ちびっ子広場」では、交通安全や防災、遊びなど、様々な体験を通して学ぶことができます。飲食エリアや創作活動ができるエリアなどもあり、親子で楽しめます。



### いばらき都市緑化フェスティバル

**10月中旬** 会場/借楽園拡張部(田鶴鳴梅林)  
主催/茨城県公園街路課 水戸市公園緑地課

花苗の無料配布、こけ玉作り、森のクラフト教室、ステージイベントなど、花と緑に関するさまざまな催しが行われます。



### 借楽園好文亭月釜

**毎月** 会場/借楽園好文亭  
主催/一般社団法人水戸観光協会  
※3月を除く 主管/茶の湯ボランティア「拙誠会」

四季折々の美しい風景が楽しめる好文亭で、6つの流派月替わりの格式高いお茶会が楽しめます。

※席料無料(好文亭入館料 別途)





# 茨城県立歴史館エリア

茨城県立歴史館



水戸市緑町2-1-15 9:30~17:00(入場は16:30まで)

◎休/月曜日(祝日の場合は翌日。年末年始、整理期間(6月下旬~7月上旬))

◎料金/大人 150円(20名以上120円)、大学生 80円(20名以上60円)、高校生以下、満70歳以上は無料  
※特別展別途。

◎駐車場/あり ◎トイレ/あり ◎問合せ/茨城県立歴史館 TEL.029-225-4425

<http://www.rekishikan-ibk.jp/>

## 茨城県立歴史館

茨城県の歴史に関する資料を収集保存しています。常設展のほか、年2回の特別展と年6回のテーマ展を開催。広い構内には明治14年(1881年)建築の八角尖塔のある旧水海道小学校本館などの建造物の文化財もあります。徳川慶喜ゆかりの一橋徳川家記念室も併設されています。



### 常設展

歴史系総合展示「茨城の歴史をさぐる」では、原始・古代から近・現代までを13のテーマで区分し、各時代の変わり目に「歴史の光」コーナーを設け、その時代の特色ある項目を選び出しています。映像やグラフィックパネル、模型、レプリカ、実物資料などにより、茨城の歴史が分かりやすく概観できるようになっています。



茨城の歴史をさぐる



ちょっと昔の暮らし



## 一橋徳川家記念室

「御三卿」の一つとして高い格式を誇った一橋徳川家の12代当主徳川宗敬氏から寄贈された総数約6,000件にのぼる伝世の美術品や文書、記録類を収蔵し、テーマ別にその貴重な資料を公開しています。



## 旧水戸農業高等学校本館

茨城県立歴史館の敷地には、明治32年(1899年)から昭和45年(1970年)まで、茨城県立水戸農業高等学校がありました。この建物は旧校舍本館を復元したものです。



## 蓮池

夏季には、池一面に大輪のハスが開花します。見ごろは7月下旬~8月の早朝です。



## イチヨウ並木

歴史館の敷地には、昭和20年代に植えられた約60本のイチヨウが木となり、見事なイチヨウ並木をつくっています。11月には、黄葉が見頃を迎えます。



## タイムカプセル

昭和46年(1971年)11月13日(県民の日)に、茨城県が誕生してから百年目を記念して、「100年後の人々に茨城の今日の姿を伝えよう」と、タイムカプセルが埋められています。



## ◎主な施設

### 旧水海道小学校本館

明治14年(1881年)に建築された水海道小学校本館は、県指定文化財で、昭和48年(1973年)に現在の場所に移築され、建築当時の設計図をもとに、当初の姿に復元されました。展示室では、教育資料や水海道小学校縁の資料を見ることができます。



### 旧茂木家住宅

行方郡牛堀町(現潮来市)から移築した直屋型の農家で、18世紀前半に建てられたものとみられます。(県指定文化財)



歴史館のイベント

歴史館ではさまざまなイベントなどを行っていますので、ぜひご参加ください。  
※詳細は、お問合せください。

日曜歴史館

主に第1日曜日に開催される歴史講座です。



歴史館コンサート

スタインウェイ&サンズ社が1865年(慶応3年)に製造したグランドピアノで名曲を楽しみます。



十二単試着体験

雅な十二単(体験用)を試着し、平安時代に想いを馳せませす。試着体験は、11月、1月、3月に行っています。



よろい・かぶと体験

戦国武将が身につけた甲冑(体験用)の着心地や重さを体験できます。体験は、5月と11月に行っています。



茨城県立歴史館周辺

沢渡川緑地

沢渡川に沿って広がる、まちなかの緑のエリアです。芝生広場やゆっくりと散歩ができる遊歩道があります。



- 水戸市緑町3
- ◎駐車場/なし
- ◎トイレ/あり
- ◎問合せ/偕楽園公園センター
- TEL.029-244-5454



歴史・文化めぐりコース

歩いてみよう!! 偕楽園公園

自然めぐりコース

JR水戸駅北口

↓ 徒歩10分

弘道館 P31

水戸藩の藩校です。敷地には、約60品種約800本の梅が植えられています。



↓ 徒歩40分

県立歴史館 P16

茨城県の歴史に関する資料を見ることができます。徳川慶喜公ゆかりの品を展示している一橋徳川家記念室も併設されています。



↓ 徒歩15分

偕楽園本園・常磐神社 P04.09

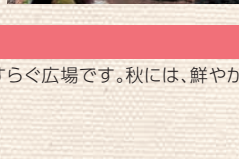
偕楽園内には約100品種3,000本の梅が植えられており、早春にはかぐわしい香りが迎えてくれます。好文亭からの眺望は見事です。



↓ 徒歩10分

もみじ谷 P11

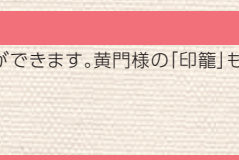
水の流れと緑が調和した心やすらぐ広場です。秋には、鮮やかな紅葉が楽しめます。



↓ 徒歩10分

徳川ミュージアム P14

水戸徳川家の資料を見ることができます。黄門様の「印籠」もあります。



↓ 徒歩15分

偕楽園公園拡張部 P10

↓ 徒歩10分



千波公園 P20

↓ 徒歩30分

茨城県近代美術館 P27

近現代の国内外の美術品を鑑賞できます。水戸出身の横山大観などの作品があります。



↓ 徒歩20分

JR水戸駅南口

JR水戸駅南口

↓ 徒歩25分

P28 逆川緑地

自然にたくさんふれることができる公園です。野鳥たちの森やピクニック広場は散策におすすめです。



↓ 徒歩30分

P20 千波公園

千波湖の周囲(3km)はジョギングやウォーキングコースとして人気です。また、少年の森の中の散歩道では森林浴を楽しむことができます。

↓ 徒歩10分

P10 偕楽園拡張部

偕楽園本園の南側に整備されている公園です。梅林のほか広場などが整備されており、休日は多くの親子連れなどでにぎわいます。また、沿道の花壇には四季折々の花が植えられており、散歩しながら楽しむことができます。



↓ 徒歩15分

P04 偕楽園本園

梅林のほかに、竹林や杉林の中の道も風情があります。萩まつりや梅まつり際には、期間限定でライトアップされます。



↓ 徒歩20分

P24 千波公園 西の谷



↓ 徒歩30分

JR水戸駅北口

# 千波公園エリア

## 千波公園



## 千波公園

千波公園は、千波湖を中心とした自然豊かな空間で、春には、ソメイヨシノなど、約750本の桜が美しい花を咲かせ、市民や多くの観光客に親しまれています。

また、千波湖の周囲1周3kmのコースを、毎日多くの方がジョギングやウォーキングに利用しています。

水戸市千波町  
 ◎駐車場／あり ◎トイレ／あり  
 ◎問合せ／  
 水戸市公園緑地課 TEL.029-232-9214  
 水戸市公園協会 TEL.029-244-2888



<http://www.city.mito.lg.jp/001373/senbako/>



## 千波湖の歴史

千波湖は、もともとは那珂川の氾濫<sup>はんらん</sup>などによって生じた浅い沼を、江戸時代初期における水戸藩の城下町建設の中で、水戸城の堀として囲い込んだことで形成されました。

江戸時代の千波湖は、庶民の暮らしと密着したもので、その水は農業用水として、備前堀を通して毎年干害に悩まされていた城南低地にもたらされていました。

また、江戸時代の後期に出された「水府志料」によれば、当時の千波湖は、現在の柳堤橋付近にまで広がっていました。その面積は、約127万5,000平方メートルで、現在の面積と比較すると、約3.8倍もの面積がありました。

その後、千波湖は、大正時代の初め頃から荒廃などが目立つようになりました。そこで、千波湖の総面積の約3分の2が干拓・開田され、残りの約3分の1が貯水池・風致湖として残されたのでした。

この干拓・開田事業によって、現在の千波湖が形づくられました。



◎主な見どころ

1 黄門像広場

好文 cafe

千波湖の水の透明感をイメージしたガラス張りのデザインで、明るく開放感のある建物です。好文cafeでは、気軽にランチを楽しめるほか、水戸のお土産品なども買うことができます。

また、天然芝を張った屋上からは、千波湖や千波湖越しの水戸の街並みを眺めることができます。夜には、ライトアップされた好文cafeが千波湖の湖面に映し出され、訪れる方の目を楽しませてくれます。

◎営業時間/10:00~21:00 ※季節により変動。



親水デッキ

好文cafeの正面に設置された幅30メートル、奥行き最大10メートルの木製デッキで、千波湖の湖面に立ったような気分を味わうことができます。また、デッキにはライトが埋め込まれており、夜には白鳥座の形が浮かび上がります。ストリートライブにも利用されています。

好文茶屋

好文cafeとは対照的な和風の建物で、軽食や水戸のお土産品などを販売しています。

◎営業時間/10:00~17:00



徳川光圀像

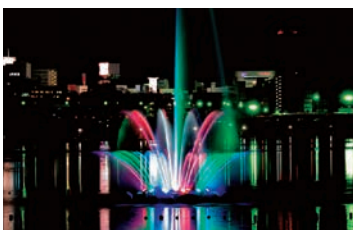
徳川斉昭公・七郎麻呂(慶喜公)像

水戸藩第9代藩主徳川斉昭公(烈公)とその7男、七郎麻呂(徳川慶喜公)の像です。七郎麻呂は、水戸の地において父斉昭公の薫陶を受け、後に徳川幕府第15代将軍として、自ら近代日本の幕を開けた近世と近代の架け橋となりました。



噴水

千波湖西側に大噴水が1基、南側と東側に小噴水が1基ずつ設置されています。大噴水は、高さ約20mまで水を噴き上げます。夜にはライトアップされ、幻想的な千波湖の景観を楽しむことができます。



※運転時間は  
8:00~22:00。  
※大噴水は毎時00分と30分から10分間の運転。小噴水は、大噴水の後、南側、東側の順に10分毎の運転。

2 貸ボート

ハクチョウの形をしたボートや手こぎボートなどに乗ることができます。

◎営業時間/8:30~日没

◎料金/  
手こぎボート 30分・700円  
白鳥型ボート 30分・1,500円



3 レンタサイクル

市内全域でご利用ください。

※タンデム車(2人用自転車)は、千波湖畔園路と指定サイクリングロード以外で乗ることはできません。

◎営業時間/9:00~16:00

◎料金/大人(中学生以上) 1日1回 500円  
子供(小学生) 1日1回 300円  
タンデム車 1日1回 500円

※子ども(小学生)は原則として保護者等の同伴が必要です。



4 少年の森

自然豊かな森の中で、岩をイメージした大型遊具で遊ぶことができます。子どもたちに大人気です。



5 デゴイチ (D51515型蒸気機関車)

千波湖畔に設置されている「デゴイチ」は、昭和45年に水戸機関区のSLが全廃となったため、当時の国鉄に要望し、昭和46年8月18日から現在の場所に展示されています。

昭和16年に埼玉県大宮市(現さいたま市)大宮工場で製造され、昭和23年7月に水戸機関区の所属となり、昭和33年2月に大宮機関区へ転出するまで、常磐線の貨物列車として活躍していました。さらに、大宮機関区に転出した後も、「デゴイチ」は、大宮~水戸間を走り、水戸でもその元気な姿を見ることができました。



- 名 称 過熱テンダー式 D51515型蒸気機関車
- 全 長 1,973cm
- 全 幅 280cm
- 全 高 398cm
- 動 輪 径 140cm
- 総 重 量 88.8t
- 走行距離 1,842,388.8km
- 製 造 年 昭和16年



## 6 ハナミズキ広場

各種イベントが行われる開放的な芝生の広場です。奥には周辺の湧水を活用したせせらぎもあります。



ハナミズキ広場 野外ステージ



## 7 ビオトープ

千波湖水質浄化のため、千波湖南側のせせらぎ広場に作られたビオトープです。

※ビオトープ(biotope)：生物群集が存在できるように環境条件を整えた地域。生物群の生息場所。



ビオトープ

## 8 テニスコート

千波湖北側にある、テニスコート(有料)です。気軽に利用することができます。

◎利用時間/8:30~18:00 ◎休/月曜日(祝日を除く)  
◎申込み・問合せ/直接、テニスコートへ TEL.029-225-3081  
※利用料金など、詳細はお問合せください。



## 9 西の谷

千波公園の北側に位置する西の谷。斜面緑地に囲まれた緑豊かな空間で、偕楽園本園、中心市街地からもとても近いです。駐車場も整備されています。



奥の階段からは中心市街地(泉町)に行けます

偕楽園方面にも行けます



## 千波湖のコバクチョウとコクチョウ

コバクチョウは、ハクチョウの一種で、たいだい橙色のくちばしの付け根に黒いこぶ瘤があるのが特徴です。コクチョウは、全身黒色でくちばしが赤いのが特徴です。

コバクチョウは、昭和43年に、親善都市の滋賀県彦根市から、コクチョウは、昭和53年、山口県宇部市から贈られたことが、それぞれルーツとなっています。



コクチョウの雛

## 偕楽園公園の四季を彩る催し

### 水戸の桜まつり

期間/4月上旬~中旬  
場所/偕楽園本園、千波公園ほか  
主催/水戸観光協会

水戸の桜まつりは、スプリングフェスティバルの一つとして、4月上旬から中旬にかけて、偕楽園、千波公園などで開催されます。期間中は、千波湖畔の桜のライトアップ、ボンボリ装飾、お堀の桜ライトアップ、水道低区配水塔ライトアップなどが行われるほか、偕楽園で野点茶会が開催されます。



### 水戸のつつじまつり

期間/4月下旬~5月上旬  
場所/偕楽園本園、千波公園、森林公園ほか  
主催/水戸観光協会

水戸のつつじまつりは、スプリングフェスティバルの一つとして、4月下旬から5月上旬にかけて、偕楽園、千波公園、森林公園で開催されます。

期間中は、偕楽園で、野点茶会、水戸黄門漫遊一座との記念写真撮影、市民観光ボランティア「歴史アドバイザー水戸」による観光案内などが行われます。



### 水戸黄門まつり

期間/8月の第1金曜日から3日間  
会場/市内  
主催/水戸黄門まつり実行委員会

昭和36年に始まったまつりで、毎年8月の第1金曜日から3日間開催されます。期間中は、千波公園で約4,500発の花火が打ち上げられるほか、市内メインストリートにおいて山車巡行、神輿渡御、水戸黄門パレード、市民カーニバルなどのイベントが開催されます。



千波公園エリア



茨城県立県民文化センター

千波湖畔にある、大ホール(1,514名収容)、小ホール(460名収容)、展示室、集会室、県民ギャラリーなどを備えた多目的ホールです。

クラシックコンサートやアーティストのツアーライブ、伝統芸能大会、合唱コンクール、発表会、講演会など、幅広い分野の催しに利用されています。

併設されているレストランでは、気軽にランチやティータイムを楽しむことができます。

水戸市千波町697  
 ◎駐車場/あり ※有料。  
 ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/TEL.029-241-1166  
<http://www.ibarakiken-bunkacenter.com/>  
 ※利用方法など、詳細は、ホームページをご覧ください。



◎主な施設

大ホール



小ホール



展示室



レストラン「モンマルシェ」



イチョウ並木

入り口付近にあるイチョウ並木は、秋には美しく色づきます。



茨城県立県民文化センター イルミネーション 毎年11月中旬～12月下旬行われるイルミネーションです。音楽演奏などのイベントも行われます。



茨城県近代美術館

偕楽園近くの緑豊かな千波湖畔にあり、横山大観、小川芋銭、中村彝(つね)など、茨城県ゆかりの作家のほか、モネ、ルノワール、ピサロなど、国内外の近代美術作品約3,800点を季節ごとに展示替えて紹介します。

水戸市千波町東久保666-1  
 9:30～17:00 ※入場は16:30まで。  
 ◎休/月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/1  
 ◎料金/一般 310円(20名以上240円)  
 高校・大学生240円(20名以上170円)  
 小・中学生 170円(20名以上110円)  
 ※企画展は別途。  
 ◎駐車場/あり ※有料。  
 ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/TEL.029-243-5111  
<http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>



中村彝アトリエ



中村彝は、大正期に活躍した水戸市出身の洋画家です。レンブラントやルノワール、シスレーなど、西洋の画家たちの作風を学び、珠玉の作品を残しました。館の西側には晩年の中村彝が制作していたアトリエが復元されています。

火～金 13:00～15:00  
 土・日・祝日 10:30～15:00  
 ◎休/美術館休館日と同じ



中村彝「カルピスの包み紙のある静物」



主な所蔵作品  
 横山大観「流燈」(左) ロダン「三つの影」(中)  
 ルノワール「マドモワゼル・フランソワ」(右)

近代美術館の主なイベントなど

企画展ギャラリートーク

開催中の企画展の見どころを、担当学芸員が展示室で解説します。



子どものためのオープンワークショップ

身近な材料を使って、造形遊びや作品づくりをします。



所蔵作品展ミニガイド

茨城県ゆかりの作家の作品を中心に、作品にまつわるエピソードなどを交えながらご案内します。



ようこそ!美術の森へ

毎月第3土曜日、午前11時より30分程度、学芸員と一緒に所蔵作品展展示室を巡り、作品の魅力を探ります。



レストラン「プティ・ポワル」

茨城の食材を主に使った洋食を楽しめます。千波湖をのぞむすてきなロケーションの中で、「美」と「食」を存分にお楽しみください。

ランチ&ティータイム 10:30～17:00  
 ディナータイム 17:30～ ※要予約。  
 ◎休/美術館休館日と同じ ◎問合せ/TEL.029-243-5742



# 周辺緑地

## 逆川緑地



### 逆川緑地

逆川兩岸とその周辺の斜面林からなる緑地です。豊かな森や湧水などの自然を、市街地の中で感じることができます。

また、歴史広場には再現された笠原水道などがあり、水戸の歴史も感じることができます。

水戸市千波町  
 ◎駐車場／あり ◎トイレ／あり  
 ◎問合せ／  
 水戸市公園緑地課 TEL.029-232-9214  
 水戸市公園協会 TEL.029-244-2888



[http://www.mito-park.net/about/park\\_sakasagawa.html](http://www.mito-park.net/about/park_sakasagawa.html)

### 4 いきものたちの広場

自然ふれあいの池では、水辺の動植物などを観察できます。また、自然の野原をイメージした広場のほか、東屋や木製遊具のあるピクニック広場などがあります。



### 5 野鳥たちの森

野鳥が生息しやすいように、実のなる木々の植栽のほか、巣箱が設置してあります。野鳥の様子は、野鳥観察場や園路などから見ることができます。



### 6 漱石所跡

徳川光圀公により建てられた茶亭「漱石所」。光圀公は、ここで川の上流から杯を流し、通過しないうちに和歌を詠むという曲水宴をしばしば催したといわれています。



### ◎主な見どころ

#### 1 レンガのアプローチゾーン

園路の両側に6基ずつ、レンガのオブジェが並んでいて、逆川緑地へのアプローチゾーンになっています。



#### 2 ピクニック広場

芝生広場の中にかわいらしい噴水など、水の遊び場があります。また、9月の下旬から10月までコスモスの群生を見ることができます。



#### 3 湿性植物観察エリア

斜面樹林からの湧水を利用して、アヤメ類やサウギキョウ、ミンハギなどの湿性植物が植えられています。野鳥や昆虫の観察もできます。



### 7 昆虫たちのほらっば

広々とした野原と水生植物や水生生物を観察できる池があります。



### 8 歴史広場

復元された笠原水道岩樋と彰考館総裁を務めた藤田幽谷の「浴徳泉記」の碑があります。奥の石段を上がると、水源池を守護する笠原不動尊と水戸神社があります。

※笠原水道は、日本で18番目に古く、水戸藩第2代藩主・徳川光圀公(水戸黄門)が水戸下町の給水難を解消するために作り直しました。



↑復元された笠原水道の岩樋  
 →水戸神社



### 「ホタルの再生」

水戸市では、逆川緑地の南端部をホタルの再生のモデル地区とし、地域主体の取組みにより、ホタルが生息できる水辺空間の創出を進めています。

平成19年から、地域の環境保全団体を中心に、逆川緑地の水路をホタルが生息しやすいよう整備するとともに、卵の放流やエサとなるカワナナの繁殖に取組んだところ、翌年からホタルの発生を確認することができました。ゲンジボタルは、「茨城県版レッドデータブック」において危急種に選定されています。ホタル鑑賞に訪れる際は、温かく見守ってください。



無料駐車場



紀州堀緑地



紀州堀緑地

紀州堀緑地は、水戸城の堀だったところで、梅香一丁目ポケットパークやエントランス広場、草花の園路のほか、展望広場、こどもの広場などがあります。

水戸市梅香  
 ◎駐車場／なし ◎トイレ／あり  
 ◎問合せ／  
 水戸市公園緑地課 TEL.029-232-9214  
 水戸市公園協会 TEL.029-244-2888

◎主な見どころ

1 エントランス広場

ベンチがある円形状の小さな広場です。まちなかでの休憩におすすめです。



3 梅香一丁目ポケットパーク

東屋で休憩することができます。



4 こどもの広場

すべり台やジャングルジムのある小さな広場です。



5 草花の園路

緑の歩道を通って進むと、中心市街地に着きます。



2 展望広場

千波湖方面を望むことができる芝生広場です。



展望広場からの眺め



借楽園公園周辺の観光施設

弘道館

弘道館は、水戸藩の藩校として、第9代藩主徳川斉昭公により、天保12年(1841年)に創設されました。国の特別史跡になっており、正庁・至善堂・正門の3か所は重要文化財に指定されています。また、平成27年度には、近世日本の教育遺産群として、日本遺産にも認定されました。敷地には、約60品種800本の梅が植えられています。

水戸市三の丸1-6-29  
 9:00~17:00(2/20~9/30)、9:00~16:30(10/1~2/19)  
 ◎休/12/29~31  
 ◎料金/個人) 大人 200円 小人100円  
 (団体) 大人 150円 小人 80円

※団体:20人以上、大人:中学校の生徒を除く年齢15歳以上の方、小人:小・中学生。  
 ※70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。  
 ◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/弘道館事務所 TEL.029-231-4725  
<http://www.koen.pref.ibaraki.jp/park/kodokan01.html>



備前堀

灌漑用水の確保と桜川や千波湖の洪水防止のために、伊奈備前守忠次が築いた用水堀です。現在も農業用水としての役割を果たしながら、歴史的な街並み空間を演出しています。

水戸市白梅、本町、紺屋、瓦谷、浜田町外  
 ◎駐車場/なし ◎トイレ/なし  
 ◎問合せ/  
 水戸市観光課 TEL.029-232-9189  
 水戸市公園緑地課 TEL.029-232-9214



水戸芸術館

水戸市制施行100周年を記念し、平成2年(1990年)に開館した文化施設です。音楽、演劇、美術の芸術活動が、それぞれの専用空間で行われています。平成25年4月からは、世界的指揮者・小澤征爾氏が館長を務めています。100メートルのシンボルタワーからは水戸のまちを眺望できます。



水戸市五軒町1丁目6-8 9:30~18:00(催事によって延長)  
 ◎休/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)・年末年始  
 ◎料金/塔 大人200円、小中学生 100円、館内見学ツアー 大人500円、小中学生400円  
 ※音楽、演劇、美術の事業については、ホームページをご覧ください。  
 ◎駐車場/あり ※有料。 ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/水戸芸術館 TEL.029-227-8111  
<http://arttowermito.or.jp/>



水戸東照宮

初代藩主徳川頼房公が徳川家康公を祀る神社元和7年(1621年)に創建。現在は頼房公も祀られています。境内には日本最古の戦車といわれる安神車などが現存しています。  
 水戸市宮町2-5-13  
 ◎駐車場/あり ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/水戸東照宮 TEL.029-221-3784



保和苑

元禄時代、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が寺の庭を愛されて保和園と名付けられたのが始まりといわれています。初夏には、園内で、約100種類、約6,000株のあじさいが咲き競い、「水戸のあじさいまつり」が盛大に開催されます。



水戸市松本町13-19  
 ◎休/なし ◎駐車場/あり ※有料。 ◎トイレ/あり  
 ◎問合せ/水戸市観光課 TEL.029-232-9189  
 水戸市公園緑地課 TEL.029-232-9214